平成２７年度第１回　印西市市民活動推進委員会　会議要旨

１．開催日時　平成２７年４月２２日（水） 午前１０時００分～１１時５０分

２．開催会場　印西市文化ホール　大会議室

３．出 席 者　牧野昌子委員長、林正信委員、植本崇委員、植村泰則委員、玉井和幸委員、

近藤りえ子委員、大野定俊委員、浅賀博委員、桑田佳雄委員、桑原玉樹委員

（以上１０名）

４．事 務 局　松田課長、杉山

５．傍 聴 者　１名（定員５名）

６．会議内容　１　開会

２　委員長あいさつ

　　３　議題

（１）企画提案型協働事業（平成２６年度実施分）の評価について

（２）平成２７年度企画提案型協働事業実施要領（素案）について

（３）「市民活動団体（ＮＰＯ等）との協働を進めるためのガイドライン」の手引き　　作成について

４　その他

５　閉会

７．会議要旨

３　議題

（１）企画提案型協働事業（平成２６年度実施分）の評価について

　　〔参考資料〕資料１－１、１－２

○印西市木下地区歴史講座

≪事務局報告≫

資料１－１に基づき報告。事業開始から３年目をむかえ、提案者と担当課のパートナーシップは良好と考えられる。以前から委員会から指摘されていた講座の参加者を活動に引き込む努力の必要性については、双方とも課題として認識している。

≪委員意見≫

・合併した印旛地区や本埜地区へも木下地区の文化を伝えていくという課題に対し、そういった取り組みの成果がわかる参加者の居住エリアなどのデータが報告書に記載されていない。課題解決のための取り組みである以上、そうした数値データも報告書にきちんと示す必要がある。

・データとして数値で示すことは重要である。

　→次回から、アンケート時にそうした質問項目を入れ、とりまとめた結果は報告書に記載するよう提案団体に伝える。（事務局）

・市民活動推進委員会で出した意見に対する回答など、評価シートの中にもう少しコメントを書き込んでいただきたい。

・評価シートの設問Ｑ２１「協働で事業を実施したことは、単独で事業を実施するよりも効果があったと思いますか。」に対し、「思う」と回答した場合、どのような効果があったのかを知りたい。

　→Ｑ２１の下に必須記入項目として「どのような効果があったのか」といった回答欄を新たに追加したい。（事務局）

・提案団体が課題として「講座修了者に対し塾活動への参加呼びかけが不十分」と記載しているが、これはどういう意味か。

　→歴史講座の受講者に対し団体の活動へ参加してもらう呼びかけという意味。ただ受講してもらうだけでなく、受講者に働きかけ団体のメンバーを増やしていくことが、団体の基盤強化に向け以前から課題とされていたことを受けての記述と思われる。（事務局）

・評価シートの設問Ｑ１５「打ち合わせ事項（合意事項）は記録に残しましたか。」に対し、提案団体は「残した」と回答しているのに、担当課は「残さなかった」と回答している。お互いに情報を共有するためには、双方が記録を残すことが重要である。

　→意見として担当課に伝える。（事務局）

・要望として、地元の郷土史に詳しい人材を講師に迎えてほしい。

○竹袋調整池と周辺地域の維持管理事業

≪事務局報告≫

資料１－２に基づき報告。事業開始から６年が経過し、提案者と担当課のパートナーシップは良好と考えられる。懸案事項である調整池の機能低下は浚渫や水草除去により改善が図られていると聞いている。

≪委員意見≫

・前回の委員会で、この事業を特定団体に継続的に契約できる方式について、担当課に検討を依頼した件が評価シートに記載されていない。評価シートにあらためて記載することは可能か。

　→評価シートは協働のプロセス評価である。担当課への検討事項については前回委員会の会議要旨に記載され公表されている。（事務局）

・調整池の活用事業は提案団体が主体となっているが、本来地域の団体で活用した方が望ましい。イベントの記載は市民活動推進課の総括にはなじまないので、外した方がよい。

・活用するにしても、トイレや駐車場がない。整備した方がよいのではないか。

・検討資料として、市内の調整池や公園の基礎資料を担当課から提出してもらいたい。

・市内の調整池の現状がわかる参考資料があるとよい。

・以前そうした資料を個人的に提出したことがある。

・竹袋調整池は木下万葉公園や駅に近く活用しやすい立地にあり、他にはないメリットがある。こうした場所はむしろ例外的であり、参考資料までは必要ないのではないか。

　→今年度の募集で同じ提案があった場合、審査前に参考資料として提出したい。（事務局）

（２）平成２７年度企画提案型協働事業実施要領（素案）について

〔参考資料〕資料２

≪事務局説明≫

・資料２に基づき、赤字で示した修正箇所について説明した。前回の委員会で指摘された部分（資料２：３～５ページ）、１５ページ様式「事業実施により得られる効果や今後の展望」記入例、１９ページ「企画提案型協働事業進行スケジュール」を主な修正点として説明した。

≪委員意見≫

・１９ページの進行スケジュールで、第１次審査と第２次審査の間に記載されていた「提案者と市の関連部署による協議」を削除しているが、残しておいてもよいのではないか。

・募集期間の部分に記載してあるので、削除してもよいのではないか。

・募集期間の部分の記載は、提案者と市の「協議」でよいのか。

　→この段階では「相談」とした方が表現として適切であると思われるので、「提案者から市の関連部署に相談」と記載を修正したい。（事務局）

・１７ページ「提案者が負担する無償労働力の記入例」では単価が８００円となっているが、千葉県最低賃金に基づくのであれば正確に７９８円とした方がよいのではないか。

・企画提案型協働事業の事業費に制限はない。無償労働力の内容が専門的で単価５，０００円とすることも可能である。千葉県最低賃金は最低ラインの基準を示すだけであり、内訳の積算は提案者の考えに任せるべき部分である。

　→記入例については案のとおりとしたい。９ページ「例　無償労働力の人件費単価　７９８円／h（千葉県最低賃金）として計算」の部分は、「（千葉県最低賃金）以上として計算」に修正したい。（事務局）

・９ページ「（８）評価基準」の内容では評価が難しい。せめて「協働の機会提案書」の中に地域課題やニーズの解決に向けた具体的な目標を数値化し、記入するべきではないか。

　→１５ページ「協働の機会提案書」記入例に、目標となる具体的な数値を示す。併せて、企画提案型協働事業の説明会や相談を受けたときに、そうした記載が重要であることを説明していくこととする。記入例の修正については、事務局に一任していただきたい。（事務局）

　→そうした方向で進めていただきたい。（委員長）

≪検討結果≫

・素案について、今回指摘のあった部分を事務局で修正することで承認された。

（３）「市民活動団体（ＮＰＯ等）との協働を進めるためのガイドライン」の手引き作成について

〔参考資料〕資料３

≪事務局説明≫

・資料３に基づき赤字で示した修正箇所等について説明した。基本的には前回の委員会で指摘のあった部分について修正した。タイトルは「印西市協働の手引き」とし、１ページ「２　本書の使い方」で、読者へのガイドを追加した。１１～１３ページ「協働の事例集」では、市内で行われている６つの協働事業を協働の手法ごとに写真入りで紹介した。

・提供方法については、市民には市ホームページへの掲載や各種研修・説明会、支援センターでの配布、市職員には電子書庫への保存や研修時の配布を考えている。Ａ５版での印刷も検討する。

≪委員意見≫

・３ページ図の文字が小さいのでできるだけサイズを拡大できないか。難しければ、隣のいんザイ君のイラストは縮小または削除してもよい。

　→できるかぎり図を大きくしたい。（事務局）

・４ページ「協働ノート」を追加したのは大変よいと思う。協働に取り組むとき、考え方を整理するのに活用しやすい。

・団体が協働などの相談を市のどの部署にすればよいのか迷ってしまう。そうした方に配慮した記載があるとよい。

　→７ページ「Ｑ５：協働のパートナーはどう探せばいいの？」の中に記載があるので、参考にしていただきたい。（事務局）

・１０ページ「協働の取り組み　チェックリスト」で、市民活動団体等に対し、「やる気とノウハウを有している。」「スキルを有している。」といった記載があるが、断定的な言い回しに感じられるので、「～に努めている。」といった表現に変えた方がよいのではないか。

　→そうした表現に修正したい。（事務局）

・１１ページ「９　協働の事例集」の「○事例１」の部分は、色分けをした方がデザインとして見やすいと思われる。

　→そうしたデザインに修正したい。体裁やデザインについては、より見やすいものになるよう校正していきたい。（事務局）

≪検討結果≫

・案について、体裁やデザインの調整、今回指摘のあった部分を事務局で修正することで承認された。

４　その他（事務連絡）

・印西市市民活動推進委員会の次回日程について

　　平成２７年度第２回　日時：５月２２日（金）午前１０時から　場所：文化ホール大会議室

以上